

号外！

今年、もう一回やります！12月です！

第18回 佐世保かっちえて落語会

瀧川鯉昇・桃月庵白酒・三遊亭兼好

この三人の組み合わせも初めてであり、いずれの師匠も落語ファンの間では非常に人気があり、その実力を高く評価されている方ばかりです。と、こんなことを書かなくてもあなたが落語好きならば、上記の“鯉昇・白酒・兼好”の文字を見ただけで・・・「ほんとにこの三人の落語ば佐世保できかるとや！」と絶叫して嬉しさのあまり腰を抜かして座り〇〇されることでしょう（〇〇の二文字が気になる方は『火焰太鼓』という落語を聴いてみてください）。で、あなたがまだ“ほんとに上手くて面白い”のはどういう噺家たちなのか、わからないなら（今回のこの会場で読んでる人は“わかっている方”ばかりでしょうが）次回、ご来場いただければわかります。と書くと・・・「ほんとにわかるとや？ウソやろ」と眉にツバする人もいるでしょうが・・・私はダジャレは言いますが、官僚や大臣のようにウソは言いません。ほんと、なんたってこういう三人なんですから。

瀧川鯉昇：本格的古典落語にはさむナンセンスギャグなど、その飄々としたおかしみのある高座は、“脱力系鯉昇ワールド”と称され、現代において、もっとも落語本来の楽しさ面白さを伝えてくれる希少で貴重な存在である。登場してから、しばし何も話さない独特の“無言の間（ま）”があり・・・「黙って会場を見渡しているときの表情と雰囲気だけでも笑える」とファンになった人もいるほどの、不思議なおかしみのある噺家である。

桃月庵白酒：“とうげつあんはくしゅ”と読みます。落語通の間で・・・「若手真打ちのなかで、いま誰が一番おもしろいか？」といった話題のときには必ず名前があがり、その評判通りに、今年の3月に芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。その愛嬌のある風貌と正統派の語り口とは裏腹に、独創的で現代的センスあふれるギャグを織り交ぜながらの古典落語を佐世保の人にも味わってもらい、“うまい白酒”に酔っていただきたい。

三遊亭兼好：魚河岸勤めやPR誌の営業マンを経て、28歳で落語家修業を始めたにも関わらず、精進に精進を重ねた努力と明るくてパワフルな演技力により、彩の国落語大賞も受賞し、いまや実力も人気もうなぎ登り。白酒同様に、「いまもっとも面白い若手真打ちのひとり」である。見ているだけで嬉しくなるような、そのサービス精神に満ちた楽しい高座を、ぜひ佐世保の人たちにも実感していただきたい。乞うご期待の、初登場である。

今回は、上記三人の真打以外にも、鯉昇師の弟子で二つ目（落語家の位）の「瀧川鯉ん（こいん）」も出演いたします。鯉んは、この会の実行委員たちと同じ母校（佐世保南高）の出身なので、励まし、応援するためにも、師匠と一緒に来てもらうことにいたしました。前座はもちりん、我が故郷の“落語っ子”たちが務めさせていただきます。嗚呼、次回もなんて盛りだくさんの会なんでしょう。これで、この料金です。嗚呼、なんて行きたくなる会なんでしょう。この会場で、本日より予約承ります。嗚呼、なんてすぐにも予約したくなる会なんでしょう。次回も、ご来場をよろしくお願い島瀬公園。

（文責・海老原靖芳）

2018年12月2日（日）

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500円 自由席：2,000円

小中高生：1,000円（指定席・自由席ともに同じ）

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____